

EUROPEAN **MOBILITY WEEK**
16-22 SEPTEMBER

MOBILITY WEEK &
CAR FREE DAY

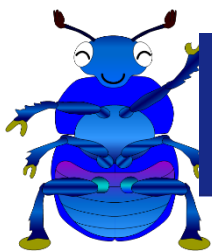
NARA

モビリティウィーク & カーフリーデー なら

実施報告書 (2019)



WALKING & CYCLING



9/16
↓
9/22

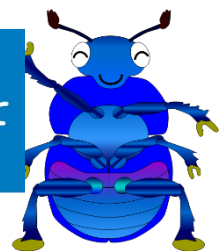
MOBILITY WEEK &
CAR FREE DAY

NARA

モビリティウィーク & カーフリーデー なら



今日は、
クルマを
おいて
でかける日



奈良市の環境キャラクター
「ルリくん」

《主催》 モビリティウィーク & カーフリーデーなら実行委員会
( 奈良市)

【奈良市の概要】

- ▶ 奈良県の北端に位置
- ▶ 面積：276.94k m²
(県内3番目の広さ)
- ▶ 人口：356,352人
(H31.4.1現在)

《奈良市の魅力》

住みやすさ

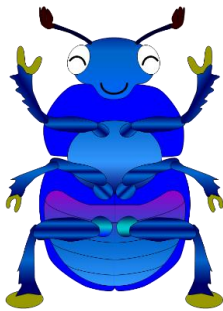
文教の街

自然豊かな
生活環境

安全で
暮らしやすい都市



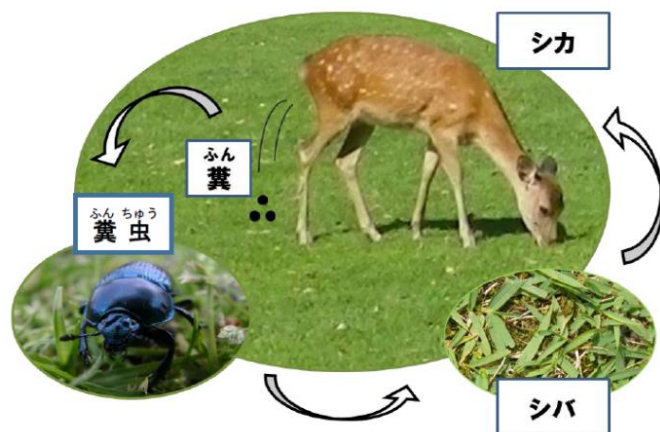
奈良市の環境キャラクター「ルリくん」



奈良公園には1,000頭をこえる野生の鹿が暮らしていますが、その鹿のフンをコツコツ処理して土にもどしてくれているのがフン虫とよばれるコガネムシの仲間たちです。その代表が紀伊半島各地でしかみられないルリセンチコガネ(オオセンチコガネ(ルリ型))というきれいなコガネムシです。

そこで、奈良市の環境をイメージし、循環型社会を象徴するキャラクターとしてルリセンチコガネの「ルリくん」が誕生しました。

ルリセンチコガネ
(若草山にて撮影)



「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」 ～今日は車をおいて出かける日～

《実施目的》

地球温暖化や大気汚染、渋滞など、都市における車中心の生活から引き起こされる諸問題を解決し、持続可能な社会へと転換を目指す総合的な政策を実現するための啓発活動として実施する。

将来的には、秋の観光シーズンに奈良公園登大路園地と県庁（バスターミナル）、近鉄奈良駅から東の世界遺産エリアへの車（特にマイカー）の流入を規制することで、環境や世界遺産を守りながら、にぎわいも呼び込む誇りを持てる都市をアピールする。

その第一歩として啓発活動を継続実施して、市民・観光客等の公園周辺のマイカーの利用縮減に対する意識の醸成を図る。同時に関係者、関係機関との協議を進め、カーフリーデーの実施を経て、ハイシーズンのマイカー流入規制を目指す。

《令和元年度 実施内容》

◎モビリティウィークパネル展：9月17日（火）～20日（金）奈良市役所正面玄関ホール

◎カーフリーデーイベント：9月22日（日）

○カーフリーゾーン

交通規制啓発区間：三条通りの一部（JR奈良駅前交差点～上三条町）11:00～16:00

- ・地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」普及啓発及び

モビリティウィーク&カーフリーデーアンケート

- ・「イスどうぞ」は思いやりのイス

三条通りに都祁森林組合の木を使ったベンチを設置。普段は座ることのない場所でゆっくりカーフリーゾーンを体感。

- ・スケッチ通り

交通規制区間の三条通りでスケッチを楽しんで、ゆっくり車のない空間を体感。

- ・みんなで撮影会

御蓋山・春日山を背景に記念撮影。奈良市観光協会キャラクター「しかまるくん」も登場。



○イベント会場：J R奈良駅東口駅前広場 11:00～16:00

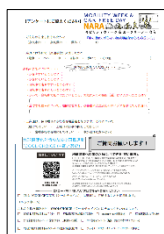
ブース出展・・・11 ブース

参加人数・・・延べ約 700 人

アンケート回収枚数・・・108 枚



・ブース出展内容



ブース名	実施団体
車において COOL CHOICE！新しいライフスタイルを提案します	特定非営利活動法人奈良ストップ温暖化の会
自転車と歩く“なら”みどころマップ	奈良市地球温暖化対策地域協議会
ストップ温暖化パネル展とぬり絵	奈良県環境政策課
春日山原始林の保全活動の紹介、えんぴつ型ストラップづくり	春日山原始林を未来へつなぐ会
ミニトマトすくい・かき氷	生活協同組合 コープ自然派奈良
ならコープでんきで蓄電した再エネ49% カフェで珈琲と紅茶の販売	市民生活協同組合 ならコープ
県内産減農薬、無農薬野菜の販売	奈良県農民連北和センター
自転車の乗り方啓発等	奈良市交通対策協議会
自家栽培した瓢箪を使ったクラフト体験と作品の販売	音沙汰∞otozata∞ひょうたん工房
シェア自転車の展示及びアプリ登録と使用と説明等	モバイク・ジャパン株式会社
シェアサイクル体験会	株式会社ドコモ・バイクシェア

WALKING & CYCLING

・ウォーキング&サイクリングイベント

ツアー名	実施団体
奈良公園ちょっと巨樹ウォーク	春日山原始林を未来へつなぐ会
菜の花と橘で結ぶ 記紀万葉の道巡りエコツアー	特定非営利活動法人 宙塾
奈良の街並みと歴史を感じる自転車フォトラリー	特定非営利活動法人 奈良ストップ温暖化の会

1. 周知活動

(1) 「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」 チラシの作成、配布

「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」の周知や、イベントの集客を図るため、チラシを作成し、配布した。

配布先は、市公共施設や実行委員会関係者をはじめ、イベント出展団体、近隣自治会、商店街振興会等へ約 5,000 部を配布した。

また、チラシを A1 サイズで印刷し、ポスターとして市公共施設や会場である JR 奈良駅の掲示板等に掲示した。

これらを通して、モビリティウィーク&カーフリーデーについて知っていただくきっかけとなった。

A4 チラシ表



A4 チラシ裏



(2) 「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」 の事前啓発

市庁舎に来庁される市民の方にイベントの周知、「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」の啓発をするため、市庁舎正面玄関ホールにてパネル展示及びのぼりを設置し、チラシの配布を行った。事前啓発することにより、イベントの集客だけでなく日ごろ関心の低い層に対しての意識の向上に繋がった。

●正面玄関ホール

【実施日】9月18(水)【配布枚数】250枚



(3) 「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」 イベント会場での周知

イベント会場であるJR奈良駅に設置されているデジタルサイネージ(電子看板)を活用し、東口駅前広場でのイベント開催について、駅利用者へ向けて配信した。

また、イベント終了後も引き続き、モビリティウィーク&カーフリーデーの主旨について配信した。

EUROPEAN MOBILITY WEEK
16-22 SEPTEMBER 2019

9月16日から22日はモビリティウィーク、9月22日はカーフリーデーです。
移動を通じて持続可能な社会を考える環境交通週間です。
期間中には車に頼らないまちづくりを考え、行動する日としてイベントも開催します。
この機会に車に頼らない日常生活を考えてみませんか。

モビリティウィーク & カーフリーデーイベント
9月22日(日)11:00~16:00 JR奈良駅東口駅前広場

シェア自転車乗車体験、NPOの環境啓発ブース、地産地消のブースなどのほか、
あなたの住みたい"なら"を描く「クルマに頼らない持続可能なまち」について考えます。

Walk with us!

#mobilityweek



J R奈良駅デジタルサイネージ (奈良市観光戦略課 HP より)

(4) 「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」実行委員会の HP の作成、イベントの周知

「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」について、多くの方の目にとまるよう、WEB ページを作成した。ホームページを通して、モビリティウィーク&カーフリーデーについての周知や「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」のイベント情報について随時発信を行った。

また、イベントの周知にあたっては、ブログにてブース出展団体の紹介も行い、幅広い層への PR を図った。

●モビリティウィーク&カーフリーデーなら実行委員会 HP



●イベント開催の周知



(URL : <https://carfreedaynara.jimdofree.com/>)

(5) その他の周知活動

●市長の定例記者会見での PR (奈良市ホームページより)

「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」の実施
～今日は車を置いて出かける日／安全な歩行と自転車！～(令和元年9月2日発表)

登録日:2019年9月2日

奈良市では、車に頼らない快適で持続可能なまちづくりを考え、イベントを通して、対象の地域内で車を使わない空間を創り体感してもらおう「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」を実施します。



●市公式フェイスブック・ツイッターでの PR

奈良市役所
9月17日

【モビリティウィーク&カーフリーデーなら「クルマを置いて、でかける日」】
モビリティウィーク（9月16日～22日）は車に頼らない、快適で持続可能なまちづくりを考え行動する週間、昨年は世界で約2,700都市が参加しました。
奈良市でもカーフリーデーの9月22日(日)に三條通りの交通規制区間を活用し、ブース出展等のイベントを開催！車を使わない日常生活を体感しましょう。

【日程】 9月22日 11:00～16:00
【場所】 JR奈良駅東口駅前広場、三條通り
【内容】
◆午前11時～午後4時 実行委員会企画イベント、ブース出展（JR奈良駅東口駅前広場）
◆午前11時～正午、午後2時半～3時 交通規制区間での啓発活動（三條通り）
☆奈良の街並みと歴史を感じる自転車フォトラリーや、歩いて奈良を楽しむツアーなど実施！
詳細はこちら
<http://www.city.nara.jp/.../contents/1563883214116/index.html>

奈良市役所公式ツイッター @naracity_tweets - 9月17日

【モビリティウィーク&カーフリーデーなら「クルマを置いて、でかける日」】
カーフリーデーの9月22日(日)に、三條通りの交通規制区間を活用し、ブース出展等のイベントを開催！車を使わない日常生活を体感しましょう。
city.nara.lg.jp/www/contents/1563883214116/index.html

●「ならしみんだより」へのイベント告知を掲載 (奈良市民全世帯配布)

ならしみんだより 9月号

子どもの未来をつなぐまちづくり
奈良市子どもセンター

11月からスタートします
なごみお祭り・お寺の無償化について p.6
秋の味覚・お寺の無償化について p.6
古郡院家伝 (ことばくら) 2019-2020 p.7
奈良市で暮らす人々 p.8
シン・アインランド p.31

モビリティウィーク&カーフリーデーなら
◆今日は車を置いて出かける日／安全な歩行と自転車！
車に頼らない快適なまちづくりを考える社会啓発運動として、車のない都市空間を実際に体験できるイベントを行います
とき：9月22日(日)午前11時～午後4時 雨天決行 ▼
内容：COOL CHOICE キャラバン隊等団体による体験や展示、自転車の乗り方啓発等

◆ウォーキングイベント
同日に「奈良公園ちよつと巨樹ウォーク」「紀万葉の道巡りエコツアー」も行います。くわしくは市ホームページに掲載

※ イベントの時間帯は車の通行不可

●令和元年9月12日付 読売新聞 掲載記事

車のない空間楽しんで

22日、奈良三條通りなどイベント

車に頼らない街づくりを提案する「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」(実行委主催)の啓発イベントが22日、奈良市中心部の三條通りなどで行われる。間伐材で作ったベンチを車道に置いて車のない空間を味わってもらうほか、自転車や徒歩で楽しむ所の案内、県産野菜の販売などのブースが出展する。

16、22日を「モビリティウィーク(環境交通週間)」と位置づけ、奈良市役所1階でパネル展示(17、20日)を行う。こうした取り組みは欧州を中心に世界各地で行われており、国内では今年、仙台市、横浜市など12都市が実施。昨年、初参加した奈良市は「モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード」

(一般社団法人カーフリーデージャパン主催)の「まちづくり貢献賞」を受賞している。

22日午前11時から午後4時まで、JR奈良駅東口駅前広場と、三條通りの同駅前交差点から上三條町まで約500メートルの区間で啓発を行う。

2019/9/12 (木)付
読売新聞 30面

●令和元年9月26日付 毎日新聞 掲載記事

車通らぬ町 日常再発見

渋滞や環境を考えるイベント 主催し、同市では今年で2回目。三條通りの一部は歩行者天国となり、誰でも自由に座れる椅子を設置。スケッチブックと色鉛筆が貸し出され、参加者が椅子に座りながら車の無い風景を写生した。またJR奈良駅前にはシェアサイクルの体験車や子どもたちが必死に自転車の発電ができるブースなども出展された。

奈良市役所前田 仁志課長は「車の通らない日常を体験し、奈良を再発見するきっかけにしてもらえた」と話していた。

【小寺洋介】

●令和元年9月22日付 産経新聞 HP

三條通りで「カーフリーデーなら」 歩行者天国も

2019年09月22日 産経新聞奈良支局 最新ニュース

いいね! 0 シェア 0 Tweet 0

奈良市は22日、三條通りの一部を交通規制し、車のない生活やまちづくりについて考えるイベント「カーフリーデーなら」を開く。

世界で約2700都市が参加する車に頼らない生活について考える「モビリティウィーク」(16～22日)に合わせて開催され、今年で2回目。

午前11時～午後7時、JR奈良駅前交差点から猿沢池付近までの約900メートルを交通規制。時間限定で車道に木製のイスが設置され、普段は見られない眺めを楽しめるほか、春日山を背景に写真撮影もできる。

JR奈良駅東口広場には、自転車と徒歩で巡る奈良の見どころマップなどのコーナーや、お茶や地酒、かき氷を販売する地産地消ブースも設置される。

また、自転車でおすすめスポットを巡り、写真に収めるフォトラリー(当日申し込み可、カメラと自転車持参)などもある。

問い合わせはモビリティウィーク&カーフリーデーなら実行委員会(0742・34・4591)。

(引用 産経新聞 HP : <http://sankei-nara-iga.jp/news/archives/16258>)

●令和元年9月22日付 奈良テレビHP



(引用 奈良テレビ HP : <http://www.naratv.co.jp/news/20190922/20190922-02.html>)

2. 「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」実施内容

(1) パネル展示

市民の環境意識や交通に対する関心の向上を図るため、ヨーロッパモビリティウィークの紹介や世界、アジア、日本の情勢や「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」イベントの紹介を行った。

ヨーロッパモビリティウィークに関する情報や「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」イベントの情報発信に効果的な機会となった。

【実施期間】令和元年9月17日(火)～20日(金)

【実施場所】奈良市役所 正面玄関ホール



(2)「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」イベント

モビリティウィーク&カーフリーデーならは、当該地域における車に頼らない快適なまちづくりを考え、行動する日。

イベント実施を通して対象の地域内で車を使わない空間を創り、「奈良は車で来ない方が楽しい」「車に乗らない方が暮らしやすい」を当該地域で体感してもらうために開催した。

【実施日時】令和元年9月22日（日）午前11時から午後4時

【実施場所】ＪＲ奈良駅東口駅前広場（三条本町）

【実施内容】カーフリーズン

（交通規制啓発区間：三条通り（ＪＲ奈良駅前交差点～上三条町）

イベント会場（ブース出展、ウォーキングイベント、自転車イベント）

【参加人数】延べ 約700名

《開会（オープニングセレモニー）



- ① 市長あいさつ
- ② 会場全体
- ③ 市長による交通規制宣言

《カーフリーゾーン》



《みんなで記念撮影会》



《「イスどうぞ」は思いやりのイス》

三条通りに都祁森林組合の木を使ったベンチを設置。普段は座ることのない場所でゆっくりカーフリーゾーンを体感してもらうことができた。



《ウォーキングイベント》

●奈良公園ちょっと巨樹ウォーク



奈良公園バスターミナル HP (<https://npbt.jp/>) より

JR 奈良駅から乗合バスで奈良公園バスターミナルへ。屋上からの奈良の風景を楽しんだ後、奈良公園の巨樹を巡りながら三条通りを下り、JR 奈良駅まで戻った。

●菜の花と橘で結ぶ 記紀万葉の道巡りエコツアー



三条通り→率川神社(菜種油奉納)→鎮宅霊符神社→奈良町散策→元興寺塔跡→御霊神社→飛鳥神社→JR 京終駅

《自転車イベント》

●奈良の街並みと歴史を感じる自転車フォトラリー

イベント会場で配布の地図に掲載されたスポットと同じ場所の写真を集めてまわった。
参加者は、車に頼らない奈良のまち巡りを楽しんでいた。



《地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」》



《カーフリーデー啓発活動》



《イベント会場（ブース出展）》

●イベント会場の様子



●本部

本部では、アンケートに答えると抽選で素敵な景品をプレゼントした。



●本部企画ブースの様子

「まちあるきコンシェルジュ」



観光で奈良を訪れた方とお話ししながら目的にあった地図を提供した。

「おさんぽ調査員」



まちのあるきにくいところ、お気に入りの場所など伺い、大きな地図に付箋を貼り出した。

「スケッチ通り」



ゆっくり車のない空間を体感し、三条通りでゆったりとスケッチをしてもらえるように色鉛筆とスケッチブックの貸出を行った。

まちあるき
コンシェルジュ

おさんぽ
調査員 募集

おさんぽついでに、「お気に入りの道」「ちょっと危ない場所」など調べる調査員を募集！

スケッチ通り



オープンワークショップ

「あなたの住みたい“奈良”を描こう！～安全な歩行と自転車」



歩いて・自転車で楽しい奈良のまちを集まった皆さんと一緒に考えた。「2030年までに大宮通りに自転車・歩行者・自動車のレーンを整備して、平城宮跡と奈良公園を結ぶ」という大きな計画を中心に、自動車の規制エリアや、自転車マナーの向上のためにも専用レーンの整備が重要であること、奈良公園周辺でより環境に優しい移動システム（公共交通）の導入などについても意見が出ており、今後の奈良のまちづくりに提言したいことも出てきた。

●各ブースの様子

《ブース名 ・ブース写真 ・ブース実施団体》

車をおいて COOL CHOICE!
新しいライフスタイルを提案します



特定非営利活動法人奈良ストップ温暖化の会 (NASO)

自転車と歩く“なら”みどころマップ



奈良市地球温暖化対策地域協議会

ストップ温暖化パネル展とぬり絵



奈良県環境政策課

春日山原始林の保全活動の紹介、
えんぴつ型ストラップづくり



春日山原始林を未来へつなぐ会

ミニトマトすくい・かき氷



生活協同組合 コープ自然派奈良
県内産減農薬、無農薬野菜の販売

ならコープでんきで蓄電した再エネ 49%カ
フェで珈琲と紅茶の販売



市民生活協同組合ならコープ



奈良県農民連北和センター

自転車の乗り方啓発等



奈良市交通対策協議会

自家栽培した瓢箪を使ったクラフト体験と 作品の販売  音沙汰∞otozata∞ひょうたん工房	シェア自転車の展示及びアプリ登録と 使用の説明等  モバイク・ジャパン株式会社
シェアサイクル体験会  株式会社ドコモ・バイクシェア	シェアバイク試乗体験コーナー  モバイク・ジャパン株式会社/株式会社ドコモ・バイクシェア

3. モビリティウィーク&カーフリーデーなら実行委員会 構成団体

奈良市（環境政策課・都市政策課・観光戦略課）、奈良県地球温暖化防止活動推進センター、特定非営利活動法人奈良ストップ温暖化の会（NASO）、奈良市地球温暖化対策地域協議会、奈良県環境県民フォーラム、奈良交通株式会社、株式会社奈良シティアフエムコミュニケーションズ

4. モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード 2019 への応募

(1) まちづくり貢献賞

イベント会場で実施したオープンワークショップ「あなたの住みたい“奈良”を描こう！～安全な歩行と自転車」では、「安全に歩いて・自転車で楽しめる奈良」をテーマに、地元の方々に、まちのあるきにくいところ、お気に入りの場所などを伺い、大きな地図に付箋を貼り出した。

この地図を元にイベント終盤の「オープンワークショップ」では、歩いて・自転車で楽しい奈良のまちについて集まった皆さんと一緒に考えた。「2030年までに大宮通りに自転車・歩行者・自動車のレーンを整備して、平城宮跡と奈良公園を結ぶ」という大きな計画を念頭に、自動車の規制エリアを設けたり、自転車マナーの向上のためにも専用レーンの整備が重要であること、また、奈良公園周辺でより環境に優しい移動システム（公共交通）の導入の必要性などについて意見が出ており、奈良のまちづくりへの市民目線からの多様な提言が寄せられた。

● オープンワークショップ（出された意見・アイデア、ワークショップの様子）



(2) イベント・プロジェクト賞

まちづくりに必要な交通、環境、観光の観点のうち、モビリティウィーク&カーフリーデーの主旨をふまえ、交通を切り口に様々な視点から企画を行った。

カーフリーゾーンでは、「イスどうぞ」と題して奈良市の間伐材を活用した木製ベンチを設置し車のない非日常的な空間を体感してもらった。またベンチを活用した企画として「スケッチ通り」と題して、参加者にカーフリーゾーンでゆっくりスケッチを楽しんでもらった。カーフリーゾーンのアピールは、昨年度に引き続き4ヶ国語対応した啓発チラシを使用し、幅広い層へ周知をすることができた。

イベント会場ではメインテーマである「安全な歩行と自転車」を意識し、交通、環境、観光とメインテーマを関連させたブースや企画を展開。また、各ブースの内容とSDGsを関連付け、ロゴを掲示することで、SDGsに関心の薄い層への波及効果も狙った。

●「イスどうぞ」は、思いやりのイス



●4ヶ国語対応の当日用のパンフレット

[illegible]

2019.
9.22
11:00~16:00

今日は、 クルマを置いて でかける日

Let's leave our car at home today.

오늘은 차 없이 외출하는 날
今天 = “无车日”



MOBILITY WEEK & CAR FREE DAY NARA

모빌리티ウィーク & 카프리데이 나라

モビリティウィーク&カーフリーデーならは、車に頼らない、快適で持続可能なまちづくりを
走る。行動する日。イベントを通して、対象の地域内で車を使わない空間を作り、「奈良」が
でない方が楽しい！「車に乗らない方が暮らしやすい」を体感してもらうための開催します。

MOBILITY WEEK & CAR FREE DAY NARA is the opportunity to rethink and act for clean and sustainable
mobility by not allowing cars to enter the event area, and make you find

"It feels happier than to come to Nara by car". It was nice to see different transport model."

『奈良県民生活』より取材した「モビリティウィーク」期間中、奈良市内主要道路にて自動車（乗客）
禁止区域を設定し、そのエリア内では自転車・歩行者のみ通行可能とする。この取り組みは、市民生活者
環境保護局が毎年実施する日南市街地と奈良市東区南地区内での試行を行い、社会実験として進められ
てきた成果であり、数回所轄の区域内で行われる予定。これによって、奈良駅が開通してからの交通渋滞や
“不気味な足音現象”を防ぐことにもつながる。



安全な歩行と自転車の
**Walk
with us!**

JR 奈良駅東口駅前広場

JR Nara Sta. East Entrance Station Front Square
JR(奈) 동대입구 광장 JR 奈良车站东口广场

●カーフリーゾーンの様子



(3) 市民向けアピール賞

本部企画「オープンワークショップ」では、市民の皆さんとともに「安全に歩いて・自転車で楽しめる奈良」について考え、自分の住むまちについて考えてもらうきっかけになった。

今年度は「安全な歩行と自転車」に因み、奈良市交通対策協議会のブースを出展し、自転車の安全な乗り方や歩行時の注意すべき点などをアピールした。また、これらの企画と連動させ、本部企画「まちあるきコンシェルジュ」では、観光で奈良を訪れた方にブースを見てもらいつつお話ししながら目的にあった地図を提供させていただき、安全に楽しく移動してもらえる一助となった。

その他、交通のブースでは、シェアバイクの試乗体験スペースで、市民の皆さんに利用方法を体験してもらう機会を作ることができた。環境のブースでは、シェアバイクと環境を関連させたマップづくりに関するブースの出展のほか、環境団体の出展コーナーや地場産野菜の販売などもあり、イベント会場である駅前空間で日常とは違った空間がアピールした。

●まちあるきコンシェルジュ



●地場産野菜の販売



5. 成果と課題

(1) 実施に伴う効果

- ヨーロッパの運営委員会本部：ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーに参加登録を行い、2019年参加都市（世界3,135都市、日本13都市）のうちの1都市として、ホームページで奈良市の参加も広報され、世界へ本市での実施について情報発信することができた。
- イベント来場者に対して、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」普及啓発を実施するとともに、COOL CHOICEへの賛同者を多数集めることができた。

(2) 次年度以降の課題

- モビリティウィーク&カーフリーデー実施時期が、秋雨前線や台風などの気象状況に左右されやすい時期になっており、イベント当日も台風が接近しており、開催時には天候ももっていたが、終盤には雨に見舞われた。継続した開催を実施するために、雨天時のイベント企画も検討する必要がある。
- 将来的な目標である世界遺産エリアへのマイカー流入規制を実現するためには、都市政策としての施策と関連付けてイベントを実施していくことが重要であると考ええる。今年度も引き続き、地球温暖化対策（公共交通の利用促進・マイカーの利用縮減）の側面から環境政策課が主体となって実施したが、今後の展開として都市政策を中心とした交通政策を実施する部署における県市の連携した取組とも関連させていけると良い。

モビリティウィーク&カーフリーデーなら実行委員会（奈良市役所環境政策課内）

E-mail: carfreedaynara@gmail.com

【奈良市 環境部 環境政策課】

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742 - 34 - 4591 FAX:0742 - 36 - 5466

E-mail: kankyoseisaku@city.nara.lg.jp

